

# 第4回丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会

## 全体会議録

- ◇開会 令和8年 2月10日(火) 午後 7時50分  
◇閉会 令和8年 2月10日(火) 午後 8時50分  
◇会場 春日福祉センター ハートフルかすが1階大会議室
- ・委員長 山川 茂則 ・副委員長 植木 和也  
・委員 荻野 利直 笹川一太郎 三村 均 小西 和良  
畑 義一 久下 拓朗 近藤 敏彦 山田 吉晴  
穴瀬 一正 竹知 直弥 亀田真以子 山本 昌彦  
岸 麻記子 矢持 隆次 山内 勝司 原田 雅登  
芦田 巧 谷口 大貴 足立 賢太 近藤 賀絵  
大原 茉央 野口 恵里
- ・欠席委員 井上 友海  
・識見者 藪内文次郎 小田 敏治
- [事務局]
- ・教育長 片山 則昭  
・教育部長 山本 浩史  
・学校教育課長 小森 真一  
・教育総務課長 足立 安司  
・教育総務課副課長兼企画総務係長 足立 真澄  
・教育総務課学事係長 福垣 恵介  
・教育総務課 河南 良次  
・教育総務課 梅田 柚希

### 次第

### 1 開会

(山川委員長)

皆さん、こんばんは。先ほど地域部会が終わりまして、時間が過ぎております。時間ができるだけかからないように進めていきたいと思っております。本日は夜分お忙しい中出席いただきありがとうございます。昨日は大雪で雪かき等いろいろ大変だと思っておりますけど、本日の検討委員会のご協力よろしく願いたいと思っております。それでは、よろしくお願いいたします。

(足立教育総務課長)

それでは、大変遅れましたが、ただいまより丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会を始めさせていただきます。

本日の資料につきましては事前に送付をさせていただいておりますが、お手元に資料がない方等ございましたらお申し出ください。

次に、毎回のことでございますが、委員の皆様方をお願い事項がございます。

1点目は会議のご発言についてでございます。ご発言の際にはお名前を発せられてからご発言くださいますようお願いいたします。

2点目ですが、本日の会議は公開をしております。また報道関係者による写真撮影等がある場合もありますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

最後3点目でございます。会議の終了時刻についてでございます。会場は22時に閉館となります。後片づけ等もありますので、21時30分までには会議を終えたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、山川委員長よろしくお願いいたします。

## 次第

(山川委員長)

## 2 前回会議について

それでは、次第にのっとりまして、進めたいと思います。

まず前回の会議についてということで、まとめのほうをよろしくお願いたいと思います。

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

それでは、資料1をご覧ください。

前回第3回の検討委員会の主な内容になりますが、今後の春日地域市立小学校の在り方をテーマにして、AからEの5つのグループに分かれて、意見交換をしていただきました。各グループで出た意見を抜粋しております。「春日地域で将来的に1校というところを考えていくべきではないか」「認定こども園単位で考えてみるのはどうか」「統合しても地域の特色を学べる教育をしてほしい」「子どもを中心に考えていくべき」「春日地域で1校、小中一貫校がよいのでは」といった意見をいただきました。

下のページになります。黄色マーカーのところに第3回のまとめを書いております。グループワークで出た意見を事務局でまとめて、今後の会議資料として協議を進める、春日地域市立小学校検討委員会だよりを発行する、としております。

以上が、前回までの流れになります。

(山川委員長)

ありがとうございます。

これについては、報告だけでよろしいですかね。

## 次第

## 3 報告・協議事項

### (1) 船城小学校と黒井小学校の統合検討について（黒井・船城地域部会）

(山川委員長)

続きまして報告・協議事項ということで、船城小学校と黒井小学校の統合検討について、黒井・船城地域部会からの報告ということでお願いいたします。

(委員)

失礼します。黒井・船城地域部会の副部会長という立場でご報告をさせていただきます。

先ほど、この第3回の黒井・船城地域部会を開催いたしまして、お手元にある船城地区自治会長会から出ています黒井・船城地域部会の原案に対する回答書に基づいて協議をしていただきました。

地域部会の会長宛てに船城地区自治会長会の会長から出された文書で、この回答書の内容といたしましては、令和7年12月17日に開催されました、第2回黒井・船城地域部会の原案につきまして、下記のとおり回答いたしますということでございます。

回答内容といたしましては、船城地区として黒井・船城地域部会の原案について同意する。同意の内容は、基本的に第2回黒井・船城地域部会の原案の内容でございます。

統合時期は、令和10年度を目標とする。この令和10年度といいますのは今後の船城小学校の児童の推移等を見て、令和10年度に目標を設定したということでございます。

それから、校名は、丹波市立黒井小学校とする。校舎は、現在の黒井小学校の校舎とする。

4つ目でございますが、黒井地区と船城地区を新たな校区として、共に学び合える黒井小学校を新たに創っていくと。こういった文言でまとめていただいております。この4つ目の文については、船城地区の住民の方々の思い

というのを、ここに表したものです。この共に学び合える小学校を創っていくというのは、黒井地区と船城地区の子どもたちが同じ教室で一緒にお互いが学び合える、そういった学校のことです。そしてもう一つは、黒井と船城の歴史、文化をお互いに学び合って、その地域の理解を深めてもらう。これは児童であり、また、地域住民ともに、船城と黒井の地域の理解を深めてもらうというような、そういった黒井小学校を創っていくという思いでこの同意となっているという説明でございました。

先ほど終わりました、第3回の黒井・船城地域部会では、この原案の同意について承認をしていただいたところでございます。

(山川委員長)

ありがとうございます。

今、委員のほうから報告がございましたけれども、同意の内容につきまして、皆さんのほうは何かご意見はございますでしょうか。

(意見なし)

そうしましたら、進めていきたいと思えます。

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

事務局のほうから報告させていただきたいのですが、1月30日に船城小学校の全児童を対象にこどもの意見を聞いてまいりました。先ほどの地域部会でもご報告させていただいたんですけれども、この全体の委員の皆様にも報告させていただきたいと思えます。

(小森学校教育課長)

私から、児童の意見聴取に関して報告します。

船城小学校の子どもたちの気持ちを確認するために出向いて参りました。実施日は1月30日金曜日、小学校1年生、2年生、3年生は5時間目、4年生、5年生、6年生は6時間目に行いました。

聞き取りは授業時間なので、前に私が立って、教育総務課長と教育総務課副課長の3人で行いました。教室には学校長をはじめ、担任の先生や養護教諭なども一緒に見守っていただき、子どもたちが意見を言えるように、また書けるように、支援をしていただきました。

聞き取りについて、実施した流れに沿って報告いたします。

最初に、新聞で見たり、おうちの人から聞いたりして、船城小学校の将来をどうするか、黒井小学校と一緒にするのかというようなこと、大人たちが話し合っていることを聞いたことがありますかと尋ねてみました。

低学年は20人ほどいるうち、知っている手を挙げた、返事したのは3人ほどでした。4、5年生は1、2名、6年生は4、5名という感じでした。予想以上に知らない児童が多く、今から初めて知る子もいるのかなと思うのと、伝える私と児童の関係が全くない状況ですので、戸惑うだろうなと思いながら、最初に背景からゆっくりと説明することにしました。

導入としては、みんなの船城小学校をこれからどうしようか、今、大人が真剣に話し合っていること、それを当事者である皆さんに知ってもらい、皆さんの気持ちを知りたいこと、聞かせてもらった皆さんの意見を私が大人の話合いの場で伝えるので、しっかりと聞かせてくださいと話してから進めました。

第1部として、なぜ大人が話し合いを始めたのかという背景として、船城小学校のこどもの数が減っていることを説明しました。説明のため提示する資料としては、できるだけ短い言葉と、パッと見て把握できる図や絵で構成しました。また漢字にはルビを打ち、文を指で押さえながら読むようにしました。

最初に、棒グラフでこどもの数の減少をつかませるようにしました。今との比較対象は、親が小学生だった頃として25年前を比較しました。25年前の児童数は100人であり、今は53人なので「減ってる」という反応が、

ほぼ全ての児童から見てとれました。棒グラフは全校児童の数であって、各学年各教室のこどもの数はイメージしにくいと考えて、1つの教室にどれぐらいのこどもがいたのか、25年前と比較するイラストを次に提示しました。1つの教室に今だったら平均で何人、25年前だったら何人というようなイラストで表しました。そうすると、先ほどの棒グラフのページのときより大きい声で、「少ない」、「めっちゃ減ってる」という声が聞こえてきました。

ここで1回目のこどもたちへの聞き取りとして、「船城小学校にもっと小学生がたくさんいたらいいのになと思ったことはありますか」と尋ねました。聞き取りの方法としては、ここでは手を挙げて発表させました。こどもたちの反応としては、「思ったことない」とか、「考えたことない」という意見もありましたし、「授業中のペアとかグループがいつも同じなので、人数が増えたら毎回変わるからいいなあ」とか、「運動会や音楽会で人数がもっといたら盛り上がるのに」というような発表もありました。

次に、大人が何を話し合っているかについて小学生に説明しました。

まず、何度も話合いが続けられていること。直近では、1月18日にふなき荘で船城地区の大人が50人ほど集まって話し合っていること。1月21日には小学校でおうちの方が集まって話し合ったことを紹介しました。

その後、直近の会では、船城小学校と黒井小学校を一緒にして、新しい学校をつくってはどうかについて話し合われているということ。2つの学校を一緒にすることを「学校統合」という言葉を説明しながら紹介しました。

その後、丹波市内では、これまでに統合した学校があることを紹介しました。青垣小学校、吉見小学校、山南中学校、竹山小学校、そして4月の市島小学校を紹介しました。

次に、船城小学校と黒井小学校が統合した場合、クラスの人数がどうなるのかを説明しました。

1年生を例に取ると、船城小学校は女子が2名ですから、統合すると21名になるというのを、こどものイラストが2名から21名に増える様子が分かるように提示しました。

こどもたちの反応は、イラストでこどもの数がどっと増えたことが伝わったようで、「えーっ」と大変驚いていました。ここはかなり賑やかな反応が各学年見られました。

その直後に、同級生がたくさんになったらうれしいですか、心配ですかと尋ねました。自分の気持ちの表し方は、気持ちのメーターとして、一番左にうれしい、一番右に心配と表示して、真ん中がうれしいと心配が半分半分というところで、自分の気持ちはどの辺かなということで、ネームカードを前に貼らせました。先ほど、「えーっ」と驚いた直後でしたので、不安という気持ちが素直に出せた様子で、不安のほうに貼るこどもたちの方が多かったです。みんなが貼った後、気持ちを聞いてみました。いろんな気持ちがあることを知ることが大切だと考えて、うれしいと貼った子、真ん中に貼った子、心配だと貼った子、それぞれ指名して気持ちを尋ねてみました。うれしさに貼った児童は、「友達がいっぱい増えた方が楽しい」とか、「こども園で知っている友達と一緒にするのが楽しみ」と話してくれました。心配に貼った児童は、「人見知りだから、大勢になるのは不安」とか、「こども園のときにいじわるな子がいたから、一緒にするのが怖い」とか、「大勢になったらケンカが起きそう」と話してくれました。真ん中に貼った児童は、「友達が増えるのは楽しみだけれど、知らない子もいるので、仲よくできるか心配もある」と話してくれました。

次に、統合検討委員会などで、大人がどのような考えなのかを説明しました。私もふなき荘の話合いに出席していたので、その話合いでは黒井小学校と船城小学校を早く統合した方がよいという意見が多かったということをお伝えしました。そして、統合を早くしたほうがよいという意見の理由として、

「大勢で勉強したり遊んだりするほうが成長できるので、早く統合を進めてやりたい」という意見や、「3年後には1年生が2人だけになる。ずっと2人だけで勉強したり生活するのは寂しいと思う。早く統合して友達が多い学校生活に過ごさせてやりたい」とか、「同級生がたくさんになると不安なこともあるだろうけれど、楽しいことやできることもあると思う」という意見、いろんな意見があることを伝えました。6年生のこどもからは、「たった2人になる学年があるのか」というつぶやきが聞こえてきました。

最後に、今日の説明を聞いて、船城小学校と黒井小学校が統合することについて、今の自分の気持ちを伝えてほしいと伝えました。

高学年はプリントに、今の気持ちを書くように指示しました。「今聞いたばかりで分からない」というつぶやきも聞こえましたが、小学校の先生方が巡回しながら、一言でもいいから書こうと声をかけてくださったりして、全員意見を書くことができました。こどもたちは書きながら、周りの友達と話をしながら、今日聞いた説明を確認したり、自分の気持ちを整理したりしている様子が見てとれました。

低学年は、3年生のみ高学年同様プリントに書かせ、私が話をかけて回りました。1年生は教育総務副課長が、2年生は教育総務課長がしゃがみ込んで、一人ひとりとキャッチボールする形で、気持ちを聞き取っていきました。

こどもたちの意見や気持ちは大きく3つに分類できるものでした。

まず、統合に前向きな意見。「楽しみだから」、「知っている子がいるから」と低学年からの意見が多かったです。高学年からは「行事が楽しく開催できる」、「ライバルがたくさんできる」など。また、「妹が小学生になったときに少ない人数で授業を受けるのはかわいそうなので統合してほしい。」と、年下のこどものことを考える意見が見られました。また6年生は、「全て黒井小学校、全て船城小学校ではなく、黒井と船城で新しい学校になるようにしてほしい」や、「船城小の文化を残してほしい」、「松の木は残してほしい」、「校舎は残してほしい」、「タイムカプセルを取り出せるようにしてほしい」などの意見がありました。

中間的な意見としては、中学年、3年生から5年生あたりに多くありました。「仲のいい人がいるから楽しみです。でもちょっぴり不安です。ほかの学年の人は知らないし、ちゃんと仲よくなれるか不安です。」や、「私は心配があります。友達がたくさんになるともっと学習できるけれど、本当に友達になれるか不安だし、人数が多くなることによっていじめが起きないかが心配だからです。楽しみは遊ぶ時に大人数で鬼ごっこやドッジボールをしたほうが盛り上がるし、みんなが笑顔になる回数が多くなると思います。」というような意見がありました。また、「僕は統合したいと思います。理由は友達が増えて、さらに遊びが楽しくなるし笑顔が増えるからです。でも、統合すると船城小学校がなくなるのは嫌なので半分半分です。」という意見や、「3年後、妹が1年生で2人だけだと何も勉強できないしかわいそうだから、統合には賛成だけれど、せめて僕が卒業してからにしてほしいので、半分半分です。」というような意見もありました。

心配な意見は特に低学年に多くありました。低学年は心配という言葉が多く、「友達と仲よくなれるか心配」、「知らない人と会うのが心配」、「知っている先生がいなくなるのが心配」、「どんな先生になるのか心配」など、友達や先生に関する心配事が多くありました。中学年は、「どんな子がいるか心配」や「少なくても静かなほうが集中できる」、「給食中にうるさいかも」、「教室がぎゅうぎゅうになる」など、低学年より具体的な場面を書いて、不安な中身を教えてくれました。「バス代も払わないといけない」という意見も複数ありました。6年生の中には、「初めは話しかけないとか、どうしたらいいんだろうと頭の中で不安になる人が少なくないと思う」とか、「人見知りやコミュニティ障がいの子にとって同級生が増えると、今の友達がほか

の子に取られて一人ぼっちになってしまうことを嫌がる子もいるかも」や、「人が多くなると、児童会など人をまとめるのが大変になる」というような経験に基づく意見もありました。

こどもたちは想定以上に統合について、大人が話し合っていることを知っていないという印象を受けました。そのため、突然私の説明を聞いて戸惑った中での意見の聞き取りになった面もあるでしょうから、少し時間をおいて落ち着いて考えることも大切だと思いました。

そこで、「週末におうちの人と黒井小学校と船城小学校の子が統合するかもしれないということについてお話しすること。宿題ですよ」と伝えました。担任の先生ではないおじさんが言った宿題なので強制力はありませんが、おうちの人はどう思っているかということを考えてもらうことも大切かなと思って発言しました。

前に立って授業をして、終わった後、校長先生と主に3つのことを意見交換しました。

まず思っている以上に知っていなかったなので、説明をする機会があつてよかったなと思いました。私が中立的な立場で統合が検討されているということや、その背景を話すことで、これからこどもたちが自分事として考えるきっかけになったのかなというふうに思います。アンケートだけではこどもの不安は引き出せなかったと思うので、今回は授業形式で進めたこと、提示資料を工夫したこと、発達段階に合わせて聞き取り方法を工夫したことはよかったのかなと思っています。

2点目は、愛校心が育っていると感じたことです。船城小学校が大好きだからこのままがいいなとか、校舎やあれを残してほしいなという意見がありました。下級生やこれから入学する後輩のことを考える意見があったのも、地域愛、愛校心の表れだと思います。

3点目は、不安をたくさん聞き出せたということです。こどもたちがどんなことに不安を抱いているのかを具体的に知ること、今後検討や準備を進める際に、何を大切にすべきか、行政や学校、保護者、地域がそれぞれ何をすべきか、何ができるかを検討する大切な意見になるというふうに感じました。

船城小学校のこどもたちから聞き取った意見についての報告は以上です。

(山川委員長)

ありがとうございました。

今、船城小学校の児童さんのご意見等をお聞きして、報告がございましたけれど、何かお聞きしておきたいことなどはございませんでしょうか。

(委員)

先ほど事務局のほうから、こどもたちの聞き取りについて、丁寧な報告があったのでよく分かりました。

私が聞きたいのは、12月に第2回の地域部会が行われてから、本日の3回目の地域部会に至るまでの間、先ほどの児童の聞き取りの報告にも少し出てきましたけれども、例えば、船城小学校区では、どのような会合が持たれて、どのように地域住民に周知されたのか、あるいはどんな意見があったのか、そして今回の同意に至ったのか。少しこれからの参考として教えていただきたいと思います。

(委員)

まず第2回から本日までのスケジュールをお話しさせていただきますと、この船城地区では船城小学校の統合に関する検討委員会を船城自治会長全員と小学校の保護者代表、認定こども園の保護者代表で設けています。自治会長と自治協議会を含めて13名、保護者13名の計26名で検討委員会を持っております。12月17日に第2回地域部会が開催されまして、その内容と原案をこの委員会で報告をしました。統合時期は令和10年度を目標と

すること、小学校の名前は丹波市立黒井小学校、そして、校舎は黒井小学校校舎とする。この3つが原案として挙がっておりましたので、その内容をこの検討委員会でご説明させていただいて、委員会の中で意見を聴取しました。そのときにも、ほとんどの委員が令和10年度を目指してやはり統合すべきだと、逆に言ったら統合に向かっているのよいチャンスになっていると。ですから、それを逃さずに前へ進めてもらいたいということでした。また、保護者からも、令和10年度には入学するこどもが2人、そういったことも考え、また、その後令和12年度には完全複式学級にもなる予測というようなことも踏まえると、やはり令和10年度を目標として統合してもらいたいと、検討委員会ではそういった意見がほとんどでした。

それを受けて、年が明けて1月18日に住民説明会を持ちまして、約40名の地域の方々が来られまして、話し合いを持ったわけですが、その時点でもほとんどの方がこの原案について賛成であるというようなことでした。校名についてほかに考えられなかったのかというような意見も確かに出ました。しかしながら、こどもを中心に考えると、やはり令和10年度を目指すべきだと、そのことを考えると、校名や新たに学校をつくるということになれば時間的な問題もあるので、やはり10年度を目標とすれば、黒井小学校の名前や校舎を使わざるを得ない、これは当然じゃないかというような意見が出ました。

また、この全体の検討委員会で春日地域全体の小学校の在り方を今考えられておるといふようなことも既に情報として出しておりましたので、全体の検討の中で、やはり今後、学校名も変わっていくだろうと。春日地域全体の学校構成として小学校の体制ができれば、それに合った校名になってくると。それまでの間の黒井小学校という名前ですので、そういったところも考慮してこの原案を承認して、船城地区として理解をして、統合を前に進めてもらいたいというような意見がありました。また、若い人の意見、保護者の意見も聞いてもらいたいという意見。また、以前の旧中学校ですけども、黒井中学校、明德中学校、そして春日中学校と統合されてきた経緯があつて、決して今になってその統合がどうこうというような思いもないと。校名は大事ですけども、やはりこどもを中心に考えていくべきだといふような意見が多数出ておりました。現在の校舎のことについて一つ言われた方があったので、この黒井小学校の場所が土砂災害特別警戒区域と接近しており、土砂災害警戒区域内でもあるということで、接続道路も狭く、防災消火活動にも支障をきたすんじゃないかなといふそういった心配の声もございました。

住民説明会を開催したわけですけども、ほとんどの方がこの原案を承認して統合に向けて前へ進めてもらいたいということでした。それとやはりあくまで統合ですので、船城のこどもが転校していくわけではない、船城地区も含めた新たな校区になるので、新しい学校として、やはり今後黒井地区の住民の皆さん、また船城地区の住民の皆さんが理解し合つて、新しい学校を創っていつてもらいたいという意見。そういったことで、先ほど申し上げました、「共に学び合える黒井小学校を創っていく」といふ文言に、船城地域の皆さんの思いをのせた文言をこの回答書にのせさせていただいたところでございます。経緯としてはそういったところです。

1月18日に住民説明会、1月21日にPTAの保護者説明会、そしてそれを受けて、再度1月23日に船城小学校の統合に関する検討委員会を持ちました。検討委員会としては早急に原案を認めて統合に向けて進めてもらいたいという委員会の結論を出し、そして、委員会の結論を受けて、同じ23日に船城地区自治会長会で再度検討させていただいて、最終的にこの回答書が出たといふこういった経緯になっております。

(山川委員長)

よろしいでしょうか。

(委員)

結構です。

(山川委員長)

今、船城地区自治会のほうからの報告という形で、同意の内容をいただいたのですけれど、黒井地区の保護者も説明会を持たれましたので、ご報告をお願いいたします。

(委員)

今ありましたとおり、黒井のほうでは1月28日にオープン参観日を行いましたので、その後に保護者説明会を行わせていただきました。

黒井に関しては、多分存じない方が結構いらっしやったと思うので、一から十まで説明をさせていただきました。参加されたのは約40名ではなかったかなと把握をしております。船城地区自治会長会からの要望があったというところから、このままいくと船城小学校のこどもが、ここまで減少してしまうという話もしていきながら、どういう経緯で検討委員会ができたか、今地域部会でこういう話をしているというところまで、全部説明をさせていただきました。

おおむね納得をいただいたような形です。後で質問も受けたんですけども、一つあったのは令和10年度の統合に向けて進んでおりますという形で話をしておったのですが、そこで出たのは、こどもの人数が増えるという観点から、今までの環境と変わるので先生への配慮がないのだろうかという話が出ましたので、それは教育委員会から回答いただきまして、説明いただいたというところですよ。

黒井としては比較的スムーズにいきましたし、思ったより本当にたくさん来ていただいたんじゃないかなというふうに思いましたし、おおむね良好ではないかなというふうに思っております。

(山川委員長)

ありがとうございます。

先ほどの地域部会におきましても船城と黒井から報告をいただいて、皆さんにご承認をいただきました。

内容は、統合時期は令和10年度を目標とする。校名は丹波市立黒井小学校とする。校舎は現在の黒井小学校の校舎とする。そして、黒井地区と船城地区を新たな校区として、共に学び合える黒井小学校を創っていくという、この4つの内容ですね、地域部会として承認をいただきました。これをもって、この全体会で検討いただきますようによろしくお願ひしたいと思います。

この件で、何かご質問とか、ご意見はございますでしょうか。

付け加えるならば、先ほど児童の意見を集約されてございましたけれど、やっぱり不安とか心配をされている児童も多いので、やっぱりサポート体制をしっかりと取っていただきたいという要望も委員からございましたので、これも付け加えて報告させていただきます。

何かご意見とか、ご質問ございませんでしょうか。

(なし)

そうしましたら、この内容に基づいて全体会としては、ご承認をいただけるということでもよろしいでしょうか。

反対の方はございませんか。

(委員全員賛成)

それでは、この同意の内容どおり、ご承認をいただきます。

地域部会では、これを承認いただいて、次の段階といいますか、準備委員会という形にさせていただきたいという方向で進めていきます。それにつきましては、事務局のほうからご説明をいただきますので、お願いいたします。

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

この検討委員会としまして、ただいま黒井小学校と船城小学校の統合が決定されましたので、黒井小学校と船城小学校の統合準備委員会を立ち上げることとなります。主な協議事項としましては、船城地区児童の通学支援、また通学路の安全対策等というところになります。

準備委員会の委員につきましては、検討委員会の地域部会での黒井地区、船城地区の委員の方10名に加えまして、校長2名、認定こども園の園長1名、全体13名で予定しています。事務局につきましては、検討委員会と同様に教育委員会の事務局が務めます。

なお、検討委員会におきましては、春日地域小学校統合検討委員会、この全体会の中に部会を設置しておりましたけれども、準備委員会は検討委員会とは別組織になります。新年度は検討委員会より先行して準備委員会を始めまして、統合に向けた具体的な協議を続けていきたいと考えております。

(山川委員長)

ありがとうございます。

それでは、またこの準備委員会の内容については、報告いただけるのですね。

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

はい。

(山川委員長)

今の件でご意見ございませんか。一応準備委員会という形で、今度進めていきますけれども。

(意見なし)

ありがとうございます。

それでは、これと並行して春日地域の市立小学校の在り方ということも進めていかなければいけないので、その件につきまして資料の説明をいただきたいと思っております。

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

資料2をご覧くださいと思います。グループごとの意見を色分けして囲んでおります。また黄色マーカーのところは、将来の在り方に関する意見として、マークをつけております。5つのグループに分かれましたけれども、4つのグループから、将来では春日地域で1つの小学校とする意見が出ておりました。また段階的な統合の方法としまして、認定こども園単位での統合の意見もございました。さらに統合にあたっては、認定こども園の地域分けの経緯であるとか、大路小学校の統合した経緯、統合した学校に話を聞くということ、地域への説明会、地域の交流会、こどもの交流会の実施、具体的な協議事項ごとの部会の設置案についてもご意見をいただきました。

グループワークでの意見を振り返っていただきながら、今後の検討会の議論の進め方について、皆様でご意見いただけたらと思っております。よろしく願います。

(山川委員長)

ありがとうございます。今、前回の意見等も踏まえまして、今後のこの春日地域の市立小学校の在り方についてご意見等ございましたら、お願いいたします。

(委員)

黒井と船城が統合すると決まったので、花の子園のこども園の区域が統合したと。次は森の子園というふうに1段階また入るのか、それとも春日町、もう次は春日地域全体の統合というふうになるのか。そこを一つの論点というか、次は森の子園の順番みたいにしてしまうと、また2段階となって、2段階で春日地域が統合するという事なのですけれども、2段階のほうがいいのか、1段階でなるのか、そこを多分委員さんの中で、どっちがいいのかなっていう方、それぞれ意見をお持ちだと思うので、そのところ慎重に前向

きに検討していただけたらなというふうに思いました。

(山川委員長)

ありがとうございます。

その辺は皆さんのご意見のほうは、これから検討していただければいいですかね。ありがとうございます。

その他ございませんでしょうか。

(意見なし)

またご意見等ございましたら、お申し出いただけたらと思います。

## 次第

### 3 報告・協議事項

#### (3) その他

(山川委員長)

それでは、3番のその他に入ります。

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

事務局より事務連絡をさせていただきます。第1回目の検討委員会だよりを昨年12月に発行しております。この第2回目の発行につきまして、3月に予定しております。前回と同様に春日地域全域に、自治会の配布物と併せて配布できるように準備したいと思っております。

次に、令和8年度の委員の選出についてでございます。また改めて各委員には文書でお願いしたいと思っておりますけれども、令和8年度の委員につきまして今の委員の方が継続していただけるのか変更があるのか、お返事をいただきたいと思っております。期限は今のところ3月27日頃を予定しております。

(山川委員長)

ありがとうございます。

検討委員会だよりが昨年発行されたんですけど、皆さんの地区で何かご意見があったとか、何か質問があったとかというのはございませんか。反応はいかがでしたでしょうか、あんまりないですか。

またその辺もいろんな意見を上げていただければ、うれしいなと思っておりますので、また地区の皆さんよろしくお願ひしたいなというふうに思っております。

この件で、何かございますか。

(委員)

先ほどの検討委員会だよりの件ですけれども、この資料をPTAの説明会のほうに使わせていただきました。保護者からは大変分かりやすくまとめていただいているということで好評を得ましたので、これからも随時発行していただければありがたいなと思っております。

(山川委員長)

ありがとうございます。それでは、事務局のほうで発行よろしくお願ひします。

他にご意見ありませんか。

## 次第

### 4. 次回委員会の日程

(山川委員長)

なければ、次の4番のほうですか、日程についてお願ひします。

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

次回の委員会の日程についてですが、ただいま検討委員会のほうで準備委員会の立ち上げにつきまして承認いただきましたので、まずは第1回目の準備委員会、黒井と船城の委員だけになりますけれども、準備委員会の日程について確認したいと思います。

一応事務局のほうで候補日として今考えてございますのが、4月30日(木曜日)、もしくは5月1日(金曜日)、どちらも夜7時半からで考えております。令和8年度も委員を継続いただくかどうかというところもあるん

ですけれども、準備委員会はできたら早いうちに第1回目を行いたいと思っておりますので、日程につきまして、本日のうちにどちらかというところで決めさせていただきたいと思っております。

(山川委員長)

これは役員さんが変わるところもあるので、即答は無理かな。  
どうですか。一応予定として、この方向でということではよろしいですか。委員の返事をまたいただいて、決定するということですね。

(足立教育総務課長)

自治会で定期的な会議であったり、PTAの会議が予定されていたり、もう既に決まっているという日がありましたら、避けたいと思っておりますので、既に決まっている会議の予定がありましたら、教えていただきたいと思います。  
なければ、このどちらかで、できたら日程だけは本日押さえておきたいなと思うのですけれども、いかがでしょうか。

(委員)

船城地区ですけれども、おそらく委員は変わると思います。船城地区自治会長の役員が3月23日に決まりますので、その時点で決まった役員の方にはお知らせをしていきます。

(委員)

PTAのほうも多分3月中頃には決まっておりますので、その際は日程のほうを伝えておきます。ですから4月30日にするか5月1日にするかはここで決めていただいて、それに従うという形だと思っております。

(山川委員長)

ありがとうございます。  
そうしたら、4月30日か5月1日かということで、それまでには黒井地区のほうも役員は全部決まると思っておりますので、黒井地区と船城地区の準備委員会はそれで進んでいただけたらと思います。

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

そうしましたら、第1回の準備委員会としまして、4月30日(木曜日)、19時半からでよろしいでしょうか。よろしければ、場所のほうはハートフルかすが大会議室で行えるようにしたいと思います。改めてまたご案内をしたいと思っておりますので、もし委員が変わられる際は、この日程も合わせて引き継いでいただけたらと思います。

次に、第5回の検討委員会全体会の日程ですが、6月頃をめどに考えております。そちらについてはちょっと先になりますので、6月頃というところだけお伝えしておきたいと思っております。

(山川委員長)

ありがとうございます。  
そうしたら、黒井地区と船城地区の統合準備委員会の予定と、それと全体会の予定、一応その予定で進めていきますので、よろしくお願ひしたいと思います。  
それでは、全体を通して何か付け加えられることはございますでしょうか。

## 次第

## 5 閉会

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

本日、黒井小学校と船城小学校の統合を決定いただきました。検討委員会の地域部会につきましては、本日が最後になりますので、教育長のほうから一言ご挨拶を申し上げます。

(片山教育長)

皆さん、こんばんは。教育長の片山則昭と申します、いつもお世話になっております。  
平素から教育行政に対しまして多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ます。

さて、本日黒井小学校と船城小学校の統合につきまして、黒井・船城地域部会から協議結果の報告があり、検討委員会の委員の皆様により、黒井小学校と船城小学校の統合が決定されました。本日決定していただいた内容を基に、今後教育委員会会議や市議会に諮ってまいりたいと思っております。

昨年3月、船城地区自治会長会から、丹波市教育委員会に喫緊の課題として要望書が提出され、春日地域市立小学校統合検討委員会の委員の皆様により真剣にご協議いただきました。春日地域の小学校全体の在り方についても考える必要があるのではないかというご意見がある中で、船城小学校の統合につきまして早急に検討するため、全体の検討委員会と並行する形で黒井地区と船城地区の地域部会が設けられました。

地域教育及び地域コミュニティの拠点である小学校の統合に対しまして、非常に重い責任を感じられておられると、地域部会の中でも各委員からご発言が多くありました。こどもたちの教育環境を第一に考えられて、地区住民や保護者の意見を丁寧に聞かれながら、かつ迅速に本日の決定に至りましたことに、心より敬意を表します。

丹波市教育委員会といたしましても、皆様方の思いをしっかりと受け止め、学校と連携し、両校の交流を深めながら、こどもたちが安心して一つの新たな小学校として統合を迎えることができますよう取り組んでまいります。先ほど船城地区の委員からお話がありましたが、黒井地区と船城地区を新たな校区として、共に学び合える黒井小学校を創っていく、この言葉を大事にしたいというふうに思っております。

またこどもたちの不安に際しましても、これまでも竹山小学校や山南中学校等、この4月に開校する市島小学校におきましても、不安がなくなるように、かなりたくさん交流を行っております。そういった中で友達も増えたり、それぞれの地区の夏祭りにもこどもたちが非常にたくさん参加するようになったり、特に印象に残っているのが鴨庄地区ですけれども、夏祭りに行かせていただきますと、こんなに大勢こどもたちがいたかなと感心されるようなところもありまして、そういったいい意味もございます。できるだけ不安がなくなるように、しっかりと何回も交流を深めながら進めていきたいというふうに思っております。

また、2月3日にコミュニティスクールのフォーラムがありまして、PTA役員さんと学校が、フォーラムの中で事例発表会をされました。その中で、前山小学校と竹田小学校が一緒になった竹山小学校の発表がありまして、多くのこどもたちが統合してよかったという印象を持ったという報告がありました。

先ほどのこどもの意見の報告にもありましたが、今の時点では、こどもも不安があるかと思いますが、徐々に不安は解消していくものと、またそのように取り組んでいきたいと考えております。

今後、黒井小学校と船城小学校の統合につきましては、統合に向けた準備委員会を設置いたします。また、春日地域の小学校全体の在り方につきましても、これから具体的な議論に入っていくかと存じます。委員の皆様方にはご負担をおかけいたしますが、引き続きご理解とご協力を賜り賜りますようお願い申し上げます。お礼と挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

(山川委員長)

ありがとうございました。丹波市の全ての小学校がよくなりますようにより多くお願いしたいと思います。

それではこの会を閉じたいと思います。

植木副委員長、お願いします。

(植木副委員長)

皆さんお疲れさまでした。

今日は先に地域部会が行われまして、黒井・船城の地域部会からの報告を承認していただきまして、ありがとうございます。今後は準備委員会を開きまして、この会とは別なのですけれども、そこで具体的なことを詰められます。

先ほどの部会でもあったんですけど、子どもたちの意見を聞いてやっぱり不安な声もあると。2年後の令和10年を目標にしていますが、そこを別にすごくこだわる必要もないかなと。今後準備委員会で、具体的なこと、バスなどのこともそうなんですけれども、(一方で)やっぱり子どもたちの不安をどのように解消していくか。もともとこの会ができたのも、小学校の6年間別れて、中学校でいきなり大人数になると、そこでコミュニケーションが不安になって、不登校とかそういう事例があると。その声があつてこの会が出発したので、統合する上でやっぱり移行期間というのは絶対あつて、その間に子どもたちが不安になるという、それも同じ意味なんで、そこはしっかりケアをして進めていっていただきたいなと思います。

もちろん年度末なので、4月から委員が変わられる方もおられますが、そこはしっかりと引き継いでいただいて、まだ統合検討委員会も続けますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。私はまた来年もやらせていただきます。

それでは、長時間、いつもよりまだ早いのですけれども、遅くまでお疲れさまでした。また今後もよろしく申し上げます。